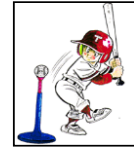




(公財)日本少年野球連盟 “ボーイズリーグ”



第12回 高柳杯争奪ジュニア大会

(小学部)



第12回大会 栄冠の行方は？



第8回高柳杯争奪ジュニア大会 優勝



2016/5/15 『仲間を信じて 全員野球』

優勝 第10回高柳杯争奪ジュニア大会



第9回高柳杯争奪ジュニア大会 優勝



第11回高柳杯争奪ジュニア大会 優勝

【期 日】 平成30年7月8日(日)・14日(土) 予備日:7月15日(日)

【場 所】 豊橋明海球場(豊橋市明海少年広場 第三球場)ほか

【開会式】 平成30年7月8日(日) 8:30~ 豊橋明海球場
(豊橋市明海少年広場 第三球場・第二球場)
(雨天の場合:雨天順延)

【閉会式】 平成30年7月14日(土) 15:30~ 豊橋明海球場
(豊橋市明海少年広場 第三球場)

主 催 / (公財)日本少年野球連盟(ボーイズリーグ) 愛知県東支部

第12回高柳杯争奪ジュニア大会

《 開 会 式 》

日 時：平成30年 7月 8日（日） 午前 8時30分～

場 所：豊橋明海球場

式 次 第

- 1 役員、審判員、代表整列
- 2 選手整列
- 3 国旗、連盟旗掲揚
- 4 開会宣言：豊橋ボーイズ 代表 丹羽
- 5 支部長挨拶：（公財）日本少年野球連盟 愛知県東支部 支部長 ^{サカキバラ タカヒロ} 榊原 隆宏 様
- 6 優勝カップ返還：岡崎葵ボーイズ ジュニア主将 木村 佑哉（きむら ゆうや）君
- 7 審判長諸注意：愛知県東支部 審判長 丹羽 剛（にわ つよし）様
- 8 選手宣誓：豊橋ボーイズ ジュニア主将 伊藤 豊（いとう ゆたか）君
- 9 始球式
 - ①ピッチャー 愛知県東支部 豊橋ボーイズ 鈴木 瑛大（すすき えいた）君
 - ②キャッチャー 愛知県東支部 豊橋ボーイズ 鈴木 翔貴（すすき しょうき）君
 - ③バッター （公財）日本少年野球連盟 愛知県東支部 支部長 榊原 隆宏 様
- 10 選手、役員退場 解散

《 閉 会 式 》

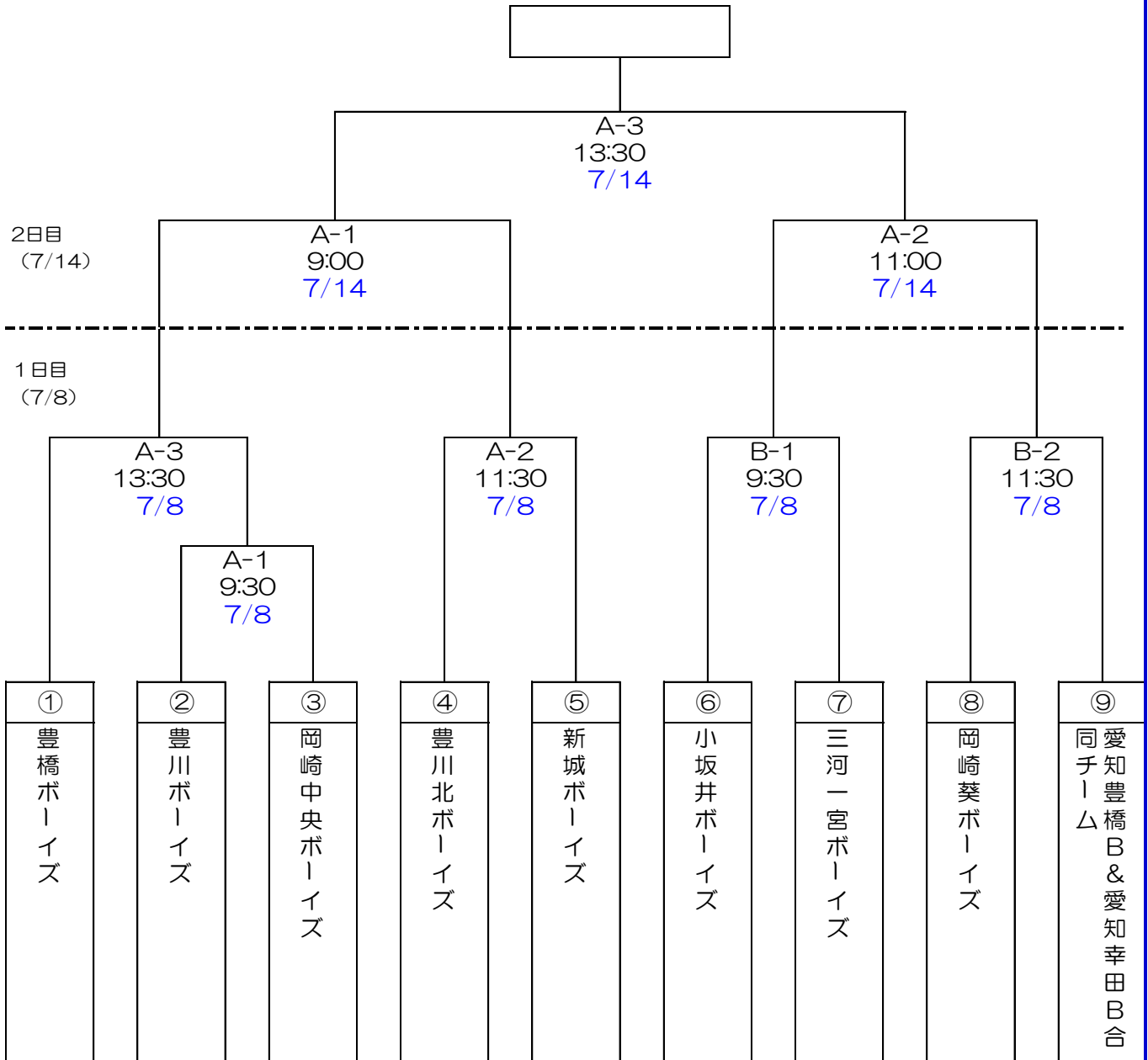
日 時：平成30年 7月14日（土） 午後15時30分～

場 所：豊橋明海球場

式 次 第

- 1 役員、審判員、代表整列
- 2 選手整列
- 3 成績発表
- 4 表彰
 - 【優勝】 賞状・優勝杯
 - 【準優勝】 賞状
 - 【個人賞】 最優秀選手賞（1名）、敢闘賞（2名）
- 5 講評：（公財）日本少年野球連盟 愛知県東支部 支部長 ^{サカキバラ タカヒロ} 榊原 隆宏 様
- 6 国旗、連盟旗降納
- 7 閉会宣言：豊橋ボーイズ 代表 丹羽
- 8 選手、役員退場
 - 閉会式終了後、＜記念撮影＞

試合名	第12回高柳杯争奪ジュニア大会					
大会日	1日目	7月8日(日)	2日目	7月14日(土)	予備日	7月15日(日)
球場名	A	豊橋明海球場A	B	豊橋明海球場B	練習場：リトル球場	
担当チーム	M	豊橋ボーイズ	S	愛知豊橋ボーイズ		
試合方法	連盟ルールによる(時間制限あり)					
開会式	豊橋明海球場 午前8:30より (集合8:00)					
大会審判	常任審判及び愛知県東支部チーム各1名のBL3級審判員(決勝戦のみ常任審判)					



*協力審判員(支部登録審判員)

<1日目(7/8)>	A	B
第1試合の塁審	①と④	⑧と⑨
第2試合の塁審	②と③	⑥と⑦
第3試合の塁審	④と⑤	----

<2日目(7/14)>

第1試合の塁審は、第2試合のチームが行う
 第2試合の塁審は、第1試合のチームが行う

決勝戦は常任審判のみ

第12回高柳杯争奪ジュニア大会 大会規定

- 1 1チームの登録選手は**9名**以上20名以内とする。(5年生以下)
(1年生と2年生の出場を認めるが、チームとして責任を持って出場させる事。)
- 2 出場選手は**平成30年7月7日**現在連盟へ登録済みの者に限る。
- 3 審査証は選手・指導者とも2017年度発行のものに限る。
- 4 ベンチ入りは、監督・コーチ・マネージャーのみとし、チーム責任者はチーム責任者証を携帯する事。但し、小学生の部においては、選手の管理が必要な場合があるので、希望があれば代表に限りベンチ入りを認める。また、監督、コーチが、登録証を携帯していない場合、選手が審査証を携帯していない場合は、いかなる理由があろうともベンチに入ることにはできないが、監督・コーチは試合開始までに間にあった場合は、審査のうえ、ベンチ入りすることができる。(マネージャーの登録証携帯の有無は問わない)
また、選手は試合終了までに間にあった場合は、その時点でベンチ入りを認める。
- 5 組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。
- 6 監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 7 試合開始時刻60分前に試合場に到着し、所定の審査を受け、直ちにオーダー表を5部審判部に提出しなければならない。
- 8 オーダー表交換時に「監督、審判員立会いのもと」両キャプテンにより、先行、後攻をジャンケンで決める。
- 9 試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときは、球団責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- 10 試合方法など(小学生の部)
 - (1)各試合は**5回戦**で行い、**4回**終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から1時間40分を超えた場合、新しいイニングに入らない。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則4・11(d)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - (2)**4回以降7点差**の場合、コールドゲームとする。
 - (3)5回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、**延長6回**(決勝戦は7回)あるいは試合開始から1時間40分(決勝戦も)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方法を実施する。
(競技に関する 特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
- 11 (1)投手は同一日に小学生の部は**5回**を超えて投球することができない。**2日連続で7イニング**以内とする。
(2)ダブルヘッダーでは連投を認めるが、投球回数を小学生の部は**5回以内**とする。
(3)例えば、1試合目で4回投げた場合には、次の試合で小学生の部は1回、投げる事できる。ただし端数回数(0/3回・1/3回・2/3回)は切り上げて1回とする。端数回数の0/3回は新しいイニングに入って一死もとらずに降板した場合を示す。なお、小学生の部は変化球を禁止する。
- 12 (1)監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の合計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
(2)守備の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
(3)内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
(4)指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 13 1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。
その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。
ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
- 14 監督、コーチおよび選手は、審判のジャッジに対して、絶対に服従し、抗議することを厳禁する。ただし規則上の疑義申し出については、監督または問題の当事者のみが審判に説明を求めることができる。この場合「3分以内」に規制する。
- 15 監督またはコーチが投手に指示などをするときは、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
- 16 2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 17 ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
- 18 投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。

- 19 小学生の部は、打撃側チームの監督、コーチに限りコーチスボックス内でベースコーチを務めてもよい。
この場合必ず両耳付きヘルメットを着用すること。
- 20 各チームが同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具（マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ）2組を備えること。
- 21 ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 22 捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 23 グランドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 24 ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 25 光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 26 試合前のシートノックは原則として**5分間**行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 27 **守備側チームの監督が故意四球とする意思を球審に示して、打者が一塁を与えられたときには、故意四球が記録される。**

【参考】野球規則 4, 11(d)

4, 12(a)によりサスペンデッドゲームにならない限りコールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。


- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

【タイブレーク実施細則】

- ① 特別規則 (イ) 小学生の部は延長6回あるいは試合開始から1時間40分を超えて（いずれか早い方）決勝戦は**7回**あるいは2時間00分を超えて（いずれか早い方）両チームの得点が等しい時以降の回の攻撃の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
(ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。
(ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。
(ニ) この場合の代打および走者は認められる。

以上

高柳杯争奪ジュニア大会 歴代優勝チーム

第1回 (平成19年) 豊川フェニックス	第7回 (平成25年) 岡崎葵ボーイズ
第2回 (平成20年) 豊川フェニックス	第8回 (平成26年) 豊橋ボーイズ
第3回 (平成21年) 岡崎ボーイズ	第9回 (平成27年) 新城ボーイズ
第4回 (平成22年) 新城アースボーイズ	第10回 (平成28年) 豊橋ボーイズ
第5回 (平成23年) 豊川フェニックス	第11回 (平成29年) 岡崎葵ボーイズ
第6回 (平成24年) 岡崎葵ボーイズ	第12回 (平成30年)  ?

第12回 出場チーム 役員・選手メンバー表

豊橋ボーイズ			豊川ボーイズ		
代表	丹羽 英之		代表	西山 照夫	
監督	野村 宗昭		監督	坂口 豪哉	
コーチ	大谷 誠		コーチ	福島 浩章	
マネージャー	片山 隆布		マネージャー	加藤 春樹	
4	主将	伊藤 豊 5年	3	主将	松井 耀司 5年
1		鈴木 瑛大 5年	2		五十棲 漣 4年
2		山崎 憲心 1年	4		小野田 瑚珀 4年
3		山崎 優心 3年	5		田村 幸輝 5年
6		鈴木 翔貴 5年	11		伊藤 一輝 4年
7		近藤 貴太 1年	17		原田 拓歩 5年
9		伊藤 皓章 4年	34		田村 将輝 3年
17		木下 龍輝 4年	37		河合 英伸 3年
20		岩品 早風 5年	39		森下 大維 3年
36		鈴木 快太 3年	51		福島 優駿 5年

岡崎中央ボーイズ		
代表	加藤 文司	
監督	井上 秀之	
コーチ	紙谷 和斗	
マネージャー	廣瀬 貞彦	
4	主将	廣瀬 貴也 5年
1		安藤 響 4年
2		峰澤 琉史 5年
5		佐々木 優多朗 4年
6		倉橋 大翔 5年
8		鈴木 慶 4年
10		森 雅宗 4年
11		峰澤 蒼心 4年
31		海老名 駿太 5年
33		酒井 桂 5年
41		門脇 琉聖 4年
51		佐々木 駿太郎 4年
52		倉橋 成颯 3年
53		朝岡 稜治 4年
55		山本 大雅 5年
86		宮原 啓太 4年

豊川北ボーイズ		
代表	高桑 要	
監督	本田 恒幸	
コーチ	藤井 健太	
マネージャー	松浦 孝直	
4	主将	重松 寿翔 5年
5		小原 圭太郎 5年
6		小林 優太 4年
7		鈴木 銀之助 4年
8		松浦 快成 4年
9		伊藤 聡佑 4年
10		河合 温瞳 4年
11		森本 陸 4年
15		伊藤 大駕 3年
16		岩崎 煌成 3年
17		竹下 武蔵 3年
18		長坂 成悟 3年
19		熊澤 明煌 2年
20		平手 希龍 2年

新城ボーイズ		
代表	伊東 敬晴	
監督	原 巧	
コーチ	山本 真人	
マネージャー	荻野 智之	
10	主将	田中 琉惺 5年
11		飛安 優杏 4年
12		筒井 蒼 3年
14		大谷 乃蒼 5年
15		河合 悠吾 3年
17		松井 響大 5年
18		鈴木 理心 5年
20		眞崎 啓斗 5年
22		上田 遥斗 4年
23		波田野 憲伸 4年
24		菅野 航琉 4年
31		鈴木 颯 4年
32		澤田 我暉 4年
33		小西 諒典 5年
34		山本 翔空哉 4年
35		眞崎 光祐 3年

小坂井ボーイズ		
代表	星野 直之	
監督	中川 和彦	
コーチ	市川 正貴	
マネージャー	飛田 正則	
6	主将	北代 日々輝 5年
3		渋川 賢人 4年
5		藤本 優真 4年
7		酒井 龍之介 5年
9		足立 颯太 4年
10		小澤 侑泰 4年
12		辻 煌生 4年
14		小尾 圭汰 4年
17		岩永 隼人 2年
22		堀内 秀哉 5年
24		松浦 慈音 5年
28		足立 結人 4年
51		森川 輝琉 4年
93		平居 拓都 4年

三河一宮ボーイズ		
代表	太田 英孝	
監督	川島 達也	
コーチ	岡本 昌久	
マネージャー	浦山 知也	
17	主将	榑原 璃久 5年
1		木本 晃希 4年
2		日比 優登 3年
3		梅田 琉来 4年
6		浦山 仁 4年
8		早川 央惺 4年
10		田中 凱人 4年
11		塩田 虎汰朗 2年
18		堀井 竣介 2年
23		雉野 真悠 3年
51		坂田 慎一郎 3年
55		岡本 來土 4年

岡崎葵ボーイズ		
代表	高村 治	
監督	土田 裕造	
コーチ	柿木園 大介	
マネージャー	鈴木 雄介	
16	主将	木村 佑哉 5年
5		加藤 翔亜 5年
6		寺崎 大和 5年
7		鈴木 煌大 5年
10		柿木園 虎毅 4年
14		壁谷 浩聖 5年
15		大村 竜心 5年
17		中尾 紫音 2年
99		大村 太辰 2年

愛知豊橋B・愛知幸田B合同チーム					
愛知豊橋ボーイズ		愛知幸田ボーイズ			
代表	富田 敏正		代表	渡邊 誠	
監督	神谷 淳		監督	姫野 孝明	
コーチ	佐藤 彰秀		コーチ	望月 裕二	
マネージャー	平山 満之		マネージャー	山本 結月	
55	主将	藤井 駿太 5年	1	主将	伊藤 龍斗 4年
1		鈴木 陽太 4年	2		長谷川 健太 3年
5		嶋崎 雄大 4年	3		竹内 央嘉 2年
7		青木 大朔 5年	5		深田 琉生 3年
8		木下 夢翔 3年	6		佐藤 慎之助 3年
10		藤田 葉名 4年	8		山下 誠太郎 3年
16		河合 飛虎 3年	10		山田 結煌 5年
17		渡邊 響揮 5年	11		柴田 悠稀 4年
19		藤田 壮祐 1年	18		齊藤 煌太 2年
27		森谷 伝 2年	23		稲吉 柊人 2年
			41		鈴木 巧海 3年
			77		千代島 舜 3年